

Team FUJIYAMA

～さらに一步前へ～

宇部市立藤山中学校 生徒指導だより
平成31年3月1日(金) 第20号

3月は旅立ちの月！

3月になりました。3月と言えば、3年生にとっては卒業証書授与式、1・2年生にとっては新たな学年へのステップの月です。3月9日(土)に3年生137名が藤山中学校を卒業していきます。今年の卒業式ではどんな感動が味わえるのでしょうか。3年生にとっては今まで3年間様々なことがあったと思います。この3年間にお世話になった多くの人に対して感謝の気持ちを態度や行動によって示してもらいたいものです。そうすることですばらしい卒業式になると思います。また、在校生はどんなメッセージをもらうのでしょうか。卒業式は卒業生も在校生も、1年間で最も大切な学校行事だと思います。卒業式の主役はもちろん3年生ですが、決して3年生だけのものではありません。保護者、先生方、地域の方、そして在校生にとっても大切な式です。始業式や終業式、そしてこの卒業式など式という名前がついているものは「形」があると思います。起立、礼、着席、その他の動作に美しさが求められます。そして式にふさわしい歌声もあります。藤山中学校の生徒全員がやるべきことを全力で行い、厳粛な式にしてほしいと願っています。卒業式には歌がつきものです。歌声が感動を呼びます。卒業式当日は、歌が卒業の感動より一層大きいものにしてもらえること間違いなしです。

卒業式が終われば、藤山中学校のリーダーは2年生です。3学期がスタートしたときから少しずつその準備を整えてきているはずですが、実際に3年生の教室に誰もいない状況になったら、いよいよ！という実感がわいてくることでしょうか。在校生の責任や最上級生となる自覚を、“卒業式”という節目に深く刻んでほしいと願います。

3年生の巣立ちの日が近づいています。



有終の美

「有終の美を飾る」という意味は、「最後の締めくくりをきちんとし、悔いを残さない」という意味です。有終の美を飾るとは、具体的にどんなことでしょうか？

①「勉強の締めくくりをする」

それぞれの学年で学習することを確実に身に付けて次の学年に進級することです。そのために一番大切なことは、一時間一時間の授業に集中し、家に帰ってからは復習や予習などを継続してやることです。

②「自分自身を見つめる」

3年生は中学卒業後の進路を選択するに当たり、自分自身の特長や特技、将来の職業について深く考えたことでしょうか。来週は、公立高校学力検査に多くの人立ち向かいます。全力を尽くして目標を達成できるよう願っています。2年生にとっては、立志式に向けて誓いをたてました。まだ先のことと思わないで、この機会に自分の将来のことについて、家族や友人と話し合ってもらいたいと思います。そして、今後、学習や生活のどんなところに力を入れなければならないかを考えてほしいと思います。

③「場をきれいにする」

1年間生活した教室や校舎、自分の机やイスなどをきれいにすることです。「立つ鳥跡を濁さず」という諺もあります。机の上の汚れなどをきれいにし、床の汚れや窓ガラスをびかびかに磨くとともに、自分の心も磨いて、すがすがしい気持ちで卒業・進級してほしいと思います。

生徒一人一人が有終の美を飾り、自信をもって新年度を迎えることを切に願っています。今後ともご家庭での支援をよろしくお願いいたします。

